

「CANVAS」プロデュース 世界最大のこども創作イベント
「ワークショップコレクション10 with モノづくり体感スタジアム」
～こどものためのワークショップ博覧会～

前回10万人の来場を記録した世界最大のこども創作イベント
よりすぐりの100ワークショップが東京・青山学院大に集合。
全国に広がる「クリエイティブキッズデイ」も同時開催！



特定非営利活動法人CANVASは、創造力・表現力を刺激するこども向けクリエイティブワークショッププログラムの博覧会「ワークショップコレクション」の第10回イベントを、2014年8月29日(金)、30日(土)に青山学院大学青山キャンパス(東京都渋谷区)にて開催いたします。

前回イベントでは慶應義塾大学日吉キャンパスを会場に、約100種のワークショッププログラムを集め、10万人来場を達成。また2013年度のグッドデザイン賞受賞、グッドデザイン・ベスト100選出など各方面から「こどもたちの創造・表現活動を全国普及するためのしくみ」「世界最大のこども創作イベント」として高い評価を頂きました。

今回は、前回と同じくこどもたちの創造力、表現力を刺激する約100ワークショップが全国から集い、未就学児から小学生、大人までまる1日楽しめる体験ワークショップ・プログラムをご用意しております。

NHK・Eテレの大人気番組「ノーゾーのひらめき工房」とタッグを組んでお届けする親子参加型のスペシャルプログラム、青山のシンボル『こどもの樹』(芸術家・岡本太郎 作)とその空間をこどもたちが彩るスペシャルワークショップ、親子で渋谷駅前の地下に広がる大空間を見学し体感する「未来のシブヤ発見ツアー」、CANVASが推進するプログラミング学習普及プロジェクトPEG(programming education gathering)による親子ワークショップ&大人向けレクチャーに加え、こどもたちのためのデジタル表現である「デジタルえほん」の世界で初めての国際的なブックフェア「国際デジタルえほんフェア～Digital Children's Book Fair～」、モノづくりや理科・科学の楽しさをこどもたちに伝える「モノづくり体感スタジアム」を併催するなど、こどもたちのクリエイティブ活動のさらなる広がりを期待した企画が盛りだくさんです。

また、記念すべき第10回目となる今回のイベントでは、本分野のさらなる全国的な周知・発展をはかるため、こどもたちの「創る」を応援する年に1度のお祭りとして、開催日(8/29-30)を「クリエイティブキッズデイ(creative kids day)」と位置付けました。全国各地で同日および夏休み期間に実施されるこども向けの様々なワークショップ・イベント=創造の場をつなげ、さらなる広がりを生み出す試みです。

ご多用のこととは存じますが、ぜひ貴社媒体を通じての開催告知及び当日の御取材を賜りたく、ご検討のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

開催概要

- 【名称】 ワークショップコレクション10 with モノづくり体感スタジアム
【開催日時】 2014年8月29日(金)11:00～17:00、30日(土)10:00～17:00
【会場】 青山学院大学 青山キャンパス (東京都渋谷区渋谷4-4-25)
【主催】 NPO法人CANVAS
【共催】 青山学院大学 / モノづくり日本会議 / 日刊工業新聞社
【協賛】 安心ネットづくり促進協議会
【後援】 文部科学省、総務省、経済産業省、内閣府、東京都教育委員会、渋谷区教育委員会、東京急行電鉄株式会社



- 【出展数】 約 100ワークショップ
【来場者数】 100,000人(見込み)
【対象】 ① ワークショップに参加希望のこども(未就学児～大人まで)
② こども向けワークショップの開催に関心のある方
教育関係者、行政関係者、大学関係者、ミュージアム関係者、企業関係者、アーティスト、ファシリテーター、各種NPO法人・団体、など

【メディアパートナー】

あしたのコミュニティーラボ、朝日新聞社、ecocolo、絵本ナビ、cotas(コタス)、産経新聞トモイクプロジェクト、渋谷文化プロジェクト、小学館edu、株式会社ディー・エヌ・エー、TBSブーブ★キッズ、東急沿線情報サイトとくらぐ、TOKYO FM、日刊工業新聞社、白泉社 kodomoe、株式会社フジテレビジョン、プレジデントファミリークラブ、ミルクジャポン、Yahoo!きっず、リセマム、小学生からはじめるわくわくプログラミング、WorMo

【公式ホームページ】 <http://www.wsc.or.jp/>

クリエイティブキッズデイ～つながる、ひろがる、創造の場。～



クリエイティブキッズデイは、こどもたちの「創る」を応援する年に1度のお祭り。全国各地でさまざまなワークショップが開催されます。全国のおとなが、こどもが、手を取りあい、つながりあい創造的な学びの場をつくりだす日。未来を創るのはこどもたちのクリエイティビティ。日本中をこどもたちのキャンパスにしませんか？

「ワークショップコレクション10」に合わせて実施する「クリエイティブキッズデイ」。日本全国でたくさんのワークショップが開催されます。北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄… 各地域の情報はホームページでご確認頂けます。

クリエイティブキッズデイ ウェブページ : <http://wsc.or.jp/creativekidsday/>

プログラム

約100のワークショップ

会場の青山学院大学をうめつくすのは、造形、絵画・イラスト、サイエンス、電子工作、音楽、身体表現、ゲーム・クイズ、映像、環境・自然などデジタル／アナログ問わず様々なジャンルのワークショップ。全国からよりすぐりの約100プログラムが集まり、こどもたちの感性を刺激します。



【ワークショップ出展者】

全国の学校、大学の研究室、企業、ミュージアム、研究者・技術者、アーティスト、アトリエなど産学官様々なワークショップ出展者が参加しています。

【対象年齢】

未就学児から小学生、大人まで幅広い年齢を対象としたプログラムがございます。

※親子参加プログラムも多数

【出展ワークショップ一覧ページ】

URL : <http://wsc.or.jp/workshop/>

スペシャルプログラム

「ノージーのひらめき工房」スペシャルショー @ワークショップコレクション10

NHK Eテレで話題の「ノージーのひらめき工房」とワークショップコレクションがタッグを組んでおとどけする参加体験型のスペシャルショーです。ひらめきの妖精「ノージー」と工作スキルの伝道師「タノチーミー」といっしょに、みんなのひらめきを形に。材料や素材を「感じ」、身近なモノや道具を使いながら「つくる」こと。その楽しさとこどもたちの無限大の発想力を引きだすスペシャル企画。

※8/30(土)のみ実施。事前予約制。



©NHK

スペシャルプログラム

“こどもの樹”の下で

青山・こどもの城のシンボル「こどもの樹」。芸術家・岡本太郎さんが願いをこめたこの作品の下に、こどもたちが集まり、その力強さを身体いっぱい受け止めながら、感じるままに空間をカラフルにいろどっていくスペシャルワークショップ。

※8/29(金)、8/30(土)両日実施。当日参加制。

【企画】 深沢アート研究所 × CANVAS

【協力】 こどもの城



スペシャルプログラム

未来のシブヤ発見ツアー！

～親子で工事現場探検！ヒミツの地下空間とシブヤの未来構想～

最先端のファッション、音楽、エンタテインメント…

日本を代表する若者のまちシブヤは、昔も今も、日本全国、世界中から人が集まりにぎわっています。そのシブヤが未来に向けて、更に新しく大きく変わろうとしています。2020年のオリンピック・パラリンピック、そしてその先の未来のために、シブヤがヘンシンするその過程を親子で見学・体感するツアー。多くの人々が行き交う渋谷駅前の地下で昼夜進められている工事現場を見学していきます。

※8/29(金)、8/30(土)両日実施(予定)。事前予約制。



【主催・運営】

渋谷駅街区土地区画整理事業共同施行者(東京急行電鉄株式会社・独立行政法人都市再生機構)、渋谷駅前エリアマネジメント協議会



モノづくり体感スタジアム

「モノづくり体感スタジアム」はモノづくりや理科・科学の楽しさを子どもたちに伝える、企業ワークショップの集まりです。モノづくりの楽しさや現在・未来の技術を体感することで、創造性や表現力、将来の日本を思い描くチカラを身につける機会を提供します。

※8/29(金)、8/30(土)両日実施。一部事前予約制。

8月上旬より申込み受付スタート予定。



モノづくり
体感スタジアム

【公式サイト】 <http://mono-stu.jp/>

【主催】 日刊工業新聞社/モノづくり日本会議

Kids Workshop Award (キッズワークショップアワード)

「第10回ワークショップコレクション」への出展ワークショップを対象に、こどもたちの創造力・表現力を刺激する、独自性のある優れたワークショップを審査員が選出し、表彰する「第5回キッズワークショップアワード」を実施いたします。

Kids Workshop Award

【審査員】

- | | |
|--------|---|
| 季 里 | (ビジュアル・プロデューサー/デジタルアーティスト/女子美術大学教授) |
| 土屋 敏男 | (日本テレビ放送網株式会社編成局専門局長 兼 LIFE VIDEO株式会社代表取締役ディレクター) |
| 中村 伊知哉 | (慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授) |
| 中谷 日出 | (NHK解説委員) |
| 柳澤 大輔 | (面白法人カヤック代表取締役CEO) |
| 石戸 奈々子 | (ワークショップコレクション実行委員長) |

PEG (programming education gathering) ゾーン

CANVASが全国で展開するプログラミング学習普及プロジェクト「PEG」。授業やワークショップを通じて、1年間で25,000人のこどもたちに豊かなプログラミング体験を届けていきます。「ワークショップ&レクチャー」「さわって・あそぼう!」「ゲームセンター」の3つのゾーンでスペシャルプログラムを実施します。

※8/29(金)、30(土) 両日実施。一部事前予約制。



【PEG ホームページ】 <http://pegpeg.jp/>

① WORKSHOP & LECTURE (ワークショップ&レクチャー)

1) 手のひらサイズのコンピューター「ラズベリーパイ」で自分だけのゲーム機をつくろう!

プログラミング学習用に英国ケンブリッジ大学で開発された手のひらサイズのコンピューター「ラズベリーパイ」と、小型モニターを組み合わせて自分だけのゲーム機をつくろう! ゲーム機で遊ぶゲームもじぶんでつくって、コンピュータを「自分のもの」にします。



2) おとな向けレクチャー

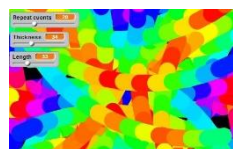
「子どもたちが本物のコンピューターを持つ意味とは?」

プログラミングワークショップや授業の実施に関心のある方向けに、おとな向けレクチャーを開催。子どもたちがパーソナルコンピューターを持つ意味とは? プログラミング学習の意義や魅力とは? レクチャーに参加した方は、その後開催される親子向けワークショップをご見学いただけます。



3) PEGパフォーマンスショー

簡単に電子工作が楽しめる「littleBits」で遊べるミニブースです。電子モジュールをマグネットで自由につなげるだけで、モーターが回ったり、LEDが光ったり、楽器の演奏ができたりと、いろんな物に変化します。電子回路の知識はなくても大丈夫。いろんな組み合わせにチャレンジして好きなものを作ってみよう!



4) かくれんぼしたロボット「Romo」を探そう!

子どもたちが集まって目をつむっている間に、エデュケーショナルロボット「Romo」がかくれんぼ。ヒントは会場に映し出される「Romo」からみえる景色の映像。

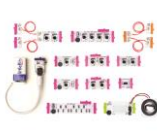


② TOUCH & PLAY (さわって・あそぼう!)

ロボット・ゲーム・デジタル楽器。プログラミングやものづくりの世界を、自由に体験できるコーナーです。



ScratchでRapiroをうごかそう!
(株式会社スイッチサイエンス)



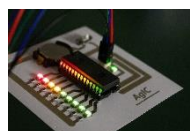
littleBitsで電子工作体験!
(littleBits x KORG)



空中に絵が描ける
夢の3Dペンを体験しよう!
(ナカバヤシ株式会社)



誰でもつくれる!
ソーシャルロボット「Mugbot」
(東京都市大学小池研究室)



誰でも電子回路デザイナー!
回路が描けるマーカー・プリンタ登場!
(AgiC)



エデュケーショナルロボット「Romo」を動かそう!
(セールス・オンデマンド株式会社)

③ GAMECENTER (ゲームセンター)

マサチューセッツ工科大学で開発されたこども向けプログラミング言語「スクラッチ」でつくったゲームで遊んでみよう。実際に小学生や中学生がつくったゲームが大集合します。



国際デジタルえほんフェア (Digital Children's Book Fair) は、タブレット、電子書籍リーダー、電子黒板・サイネージ、スマートフォンなど新しい端末におけるこども向けの絵本・書籍、その他デジタル表現である「デジタルえほん」を広く世界から集め展示する世界ではじめてのブックフェアです。

アメリカ、ロシア、フランス、ドイツ、イタリア、オーストラリア、中国などなど20カ国以上の子ども向けデジタルえほん作品が一堂に会します。

※8/29(金)、30(土) 両日実施。一部事前予約制。

【国際デジタルえほんフェア ホームページ】 <http://d-childrensbookfair.net/>



国際デジタルえほんフェア スペシャルワークショップ

presented by デジタルえほん

「国際デジタルえほんフェア」開催に合わせて「デジタルえほん」に関するスペシャルワークショップを実施いたします。

※8/29(金)、8/30(土) 両日実施。一部事前予約制。

デジタルえほん

1) 「デジタルえほんをつくろう！」

みんなでつくる空想図鑑 ワークショップ

i-book author を使ってi-padで体感できるオリジナルのデジタルえほんをつくりあげるワークショップ。みんなで想像をカタチにして、協力して、空想図鑑をつくりまします。

講師：季里 (ビジュアル・プロデューサー/デジタルアーティスト/女子美術大学教授)



2) 女子美術大学「みらいのデジタル絵本作家」ワークショップ

みらいのデジタルえほん作家を目指す女子美術大学3年生の学生が企画制作したオリジナルのデジタルえほんを、作者と一緒に楽しむワークショップです。楽器になるえほん、万華鏡になるえほん、発掘するえほん、探検するえほん・・・。時間帯ごとにいろんな作者が登場します。



デジタルえほんアワード表彰式&作品展示

こどもたちがワクワクする新しいデジタル表現手法である「デジタルえほん」の開拓と発展を目的に開催されている「第3回デジタルえほんアワード」。ポローニャブックフェアのデジタル部門を越える応募数の作品が集まった第3回アワードの受賞作品の表彰式と、その作品展示を行います。

【公式サイト】 <http://www.digitalehonaward.net/>

【主催】 NPO法人CANVAS、株式会社デジタルえほん

【審査員】

いしかわこうじ

(絵本作家)

角川歴彦

(株式会社KADOKAWA取締役会長)

香山リカ

(精神科医・立教大学教授)

きむらゆういち

(絵本作家)

小林登

(東京大学名誉教授・国立小児病院名誉院長)

杉山知之

(デジタルハリウッド大学学長)

水口哲也

(クリエイター・プロデューサー・慶應義塾大学特任教授)

茂木健一郎

(脳科学者、ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー、慶應義塾大学特任教授)

デジタル えほん アワード

ワークショップコレクションとは？

ワークショップコレクションは、こども向けのクリエイティブ・ワークショップの全国普及と発展を目的とし、全国に点在する子どもたちの創造的な学びの場としての「ワークショップ」を一同に集め、一般へ広く紹介するプラットフォームであり、世界最大のこども創作イベント、博覧会イベントです。ワークショップコレクションは、こども向け「ワークショップ」の祭典として、全国各地でこども向けワークショップを実施している方々の発表／交流の場となり、それらワークショップに参加・体験をすることもたちの集まる場となります。

★ キッズデザイン賞2007 受賞

★ グッドデザイン賞2013 受賞（グッドデザインベスト100入選）



主催団体



特定非営利活動法人CANVAS

CANVASはこどものための創造・表現の場を提供し、豊かな発想を養う土壌を育てることを目標として設立されたNPOです。これまで全国で約2,000回のワークショップを実施し、およそ30万人のこどもたちに参加いただきました。こどもたちに新しい表現を生み出してほしい、新しい世の中を築いてほしい。そんな願いを叶えるため、産官学さまざまなプレイヤーのみなさまと連携しながら「未来をつくる」プロジェクトを生み出しています。

【CANVASホームページ】<http://www.canvas.ws>

共催団体



青山学院大学

青山学院大学は今年、開校65周年、その母体となる青山学院は創設140周年を迎えます。社会はいま、技術革新による快適さとともに、解決すべき多くの困難や課題も抱えています。ワクワクするような豊かさと、変革すべき現実。このような世界と向き合い、対話を通して、変革していくためには、一人ひとりが教養と専門性を深めていくこと、それが真の国際人への第一歩となるでしょう。学びを通して芽生えてくるグローバルな視点を大切に、まずは、君たち自身を広い世界に位置付けましょう。そのために、共に学ぶ「場」が、青山学院大学にあります。

モノづくり日本会議



モノづくり日本会議（日刊工業新聞社事務局）は、規模や業種の垣根を越えたモノづくり企業が結集した団体です。前身であるモノづくり推進会議の事業をベースに、少子高齢化、サプライチェーン問題、環境対応、資源・エネルギー問題、若者のモノづくり離れなど日本のモノづくり社会の課題解決に向け様々な取り組みを行っております。

【モノづくり日本会議ホームページ】<http://www.cho-monodzukuri.jp/>



日刊工業新聞社

日刊工業新聞社は産業の総合情報機関として、新聞発行を中核に、出版・電子メディア・イベント（企画・催事）・教育などの事業を展開しています。

【日刊工業新聞社ホームページ】<http://www.nikkan.co.jp/>

本件に関するお問合せ先：ワークショップコレクション運営事務局（特定非営利活動法人CANVAS内）

TEL：03-6456-1929 FAX：03-6456-1926 電子メール：press@canvas.ws 公式サイト <http://www.wsc.or.jp>